

3 学 期	<p>A 単元：データの分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味や用い方を理解する事ができる。 ・データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する事ができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、傾向を把握して、事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について判断したり、考察したりすることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に追究、解決しようとする態度で学習する。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変数の間の関係 ・仮説検定の考え方 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、問題集 	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図、相関係数の意味を理解する。 ・データを表やグラフに整理したり、基本的な統計量を求められる ・仮説検定の考え方を理解すること <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる ・データを収集、分析、特徴を表現することができる ・主張の妥当性を判断したり、考察したりすることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に追究、解決しようとする態度で学習する。 	○ ○ ○	15
	合計	105			